

寒河江市教育委員会会議録

令和5年1月26日 開会

寒河江市教育委員会

令和5年1月26日（木曜日） 寒河江市教育委員会

○ 出席者（5名）

教育長 佐藤 志津男

委員 鈴木 淳一

委員 鈴木 多鶴子

委員 國井 晴彦

委員 大沼 賀世

○ 欠席委員（0名）

○ 事務局職員の職氏名

学校教育課長 今野 育男

生涯学習課長 渡邊 健一

指導推進室長 大竹 純

スポーツ振興課長 渡辺 智昭

○ 教育委員会日程

令和5年1月26日（木曜日）

午前10時00分 開議

寒河江市立図書館会議室

1 開会

2 議事録承認

3 教育長報告

4 議事

特になし

5 閉会

会議に付した事件

教育委員会日程に同じ

1 開 会 午前10時00分

○佐藤志津男教育長

それでは定刻ですので、ただ今から教育委員会を始めます。よろしくお願いいたします。

2 議事録の承認

○佐藤志津男教育長

初めに、前回会議録の承認についてお願いします。

(前回の会議録を回覧の上、署名を行った。)

3 教育長報告

○佐藤志津男教育長

続きまして教育長報告になりますが、12月23日以降の主な行事等を申し上げます。

12月23日10時から、定例教育委員会及び教育委員協議会を寒河江市市民体育館で開催しました。

13時15分から、教育長室にて市指定文化財指定書交付式を行いました。今回、寒河江市指定有形文化財に指定したのは、正覚寺の「木造阿弥陀如来坐像」で、宗教法人正覚寺代表役員の鈴木普生様よりお出でいただき、指定書を交付しました。

16時15分から、新型コロナウイルス感染症対策本部会議がWebexで行われました。オミクロン株のワクチン接種率は、寒河江市は全国よりやや高いくらいで、5歳から11歳の子どもの接種率は全国の2倍、6か月から4歳の子どもの接種率は全国の3倍との報告がありました。12月の感染者数は21日までで1,194人で、10歳未満の割合が高いとのことでした。

12月24日、豪雪対策連絡本部が設置され、14時からWebexで会議が開催されました。

12月26日9時30分から、議場にて、市議会12月定例会・予算特別委員会が再開され、「議第59号 令和4年度寒河江市一般会計補正予算（第10号）について」、分科会審査の経過並びに結果報告があり、採決の結果、「了」となりました。

9時45分から、議場にて、市議会12月定例会・本会議が再開され、予算特別委員会付託関係、総務産業常任委員会付託関係、厚生文教常任委員会付託関係について審議され、原案の通り可決されました。新たに、「議第71号 令和4年度寒河江市一般会計補正予算（第11号）」として、国の出産・子育て応援交付金の創設に伴う妊婦・子育て家庭への支援を速やかに行うため、母子保健指導事業費が追加提案されました。また、「議会案第5号 安全・安心の医療・介護実現のため、ゆとりある提供体制と処遇改善を求める意見書の提出について」が提案され、原案通り可決されました。その後、國井議長の辞職による、議長選挙、副議長選挙等が行われ、第4回定例会が閉会しました。

15時30分から、渡邊生涯学習課長から栗原英雄氏の「大江公ゆかりの地さがえ親善大使」委嘱式関連の説明を受け、来年度の関係事業について検討しました。

1 2月27日9時から、週間ミーティングが Webex にて行われ、年末年始をはさんでの予定について確認されました。市長からは、今年は、大雪や大雨などの災害や、コロナ対応等、様々な厳しい状況もあったが、それぞれの課で事務事業を展開してもらったことに感謝し御礼を申し上げる。年末年始の休みには英気を養って、新年から清々しい気分で業務にあたっていたきたいとお話がありました。

1 1時から、市立図書館にてジョイントミーティングが開催され、行事予定を確認するとともに、3課の方々に感謝を申し上げました。

1 4時から、村山教育事務所にて、笹原所長、佐竹管理主幹に西村山の人事関係の要望事項をお話し、協議を行いました。

1 6時15分から、新型コロナウイルス感染症対策本部会議が Webex 会議で行われました。感染者の状況とさがえさくらんぼプレミアム商品券の発売状況について報告がありました。

1 2月28日8時30分から、朝の打合せで御用納めにあたっての教育長挨拶を行いました。

8時50分から、スポーツ振興課、生涯学習課、西部地区公民館、柴橋地区公民館、南部地区公民館を回り、御用納めの挨拶を行いました。

1 2月31日23時から、第11回慈恩寺大晦日花火大会「雪月華」を参観しました。風もなく天候にも恵まれ、とてもきれいな花火を見ることができました。多くの方が冬の花火を楽しんでいました。

1月4日8時30分から、朝の打合せで仕事始めの挨拶を行いました。

9時20分から、年頭における市長あいさつを YouTube で視聴しました。今年は新第6次振興計画の3年目で、未来の寒河江を創造していく取り組みをより多角的に実施していく大切な年であり、これまで以上に新たな発想力が必要であること。教育委員会関係では、学校施設整備計画について説明会で出されたご意見を検討しているところであるが、夢と希望あふれる子どもたちがすくすくと育つため、関係者のみなさんと知恵を出し合い、より良い方向に進んでいくように力を注いでいきたい。また、今年は兎年であるが、「鳶目兎耳」という言葉がある。大きな視点で課題をしっかりと捉え、市民の皆さまの様々な意見に耳を傾けていくことが大切である。この言葉を心にとめて職務にあたってほしいとお話がありました。

1 0時から、1月定例課長会議が Webex 会議で行われました。市長挨拶では、昨年も大雪や夏の大雨による災害があったが、災害はいつ起こるか分からない。先を読んで対策を講じなければならない。「先憂後楽」という言葉があるが、危機管理意識は日常の業務の中でも大事である。今年の干支は「みずのとう」であり、努力した成果が実って飛躍する縁起のいい年である。健康で充実した実り多い一年にしてほしいとお話がありました。協議では、議会事務局より「選挙後における正副議長及び各種委員等の選出について」の説明がありました。

1 5時30分から、市民文化会館にて開催された賀詞交換会、寒河江市民新春祝賀会に出席しました。祝賀会では、「鎌倉殿の13人」で大江広元公を演じられた栗原英雄さんに「大江公ゆかりの地さがえ親善大使」の委嘱も行われました。

1月5日10時から、渡邊生涯学習課長から、大江公ゆかりの地さがえ親善大使を引き受けていただいた栗原さんへの対応や文化センターのサーバーの故障等について報告を受けました。

1月6日9時30分から、西村山広域行政事務組合消防本部で開催された令和4年度西村山消防本部消防職員意見発表会に審査委員長として参加しました。審査は、寒河江市立病院の渡邊総看護婦長、西村山広域行政事務組合の沖津消防長の3名で行いました。5名の若い消防士が自らの意見を力強く発表してくださいました。最優秀賞が消防署第一課の角川文哉消防士の「大切な仲間と共に」、優秀賞が消防署河北分署の秋山晴奏消防士の「子どもたちが救う命」となりましたが、どの発表も内容・態度ともとても素晴らしく、甲乙つけがたいものでした。表彰式では、審査委員長として講評を述べさせていただきました。

11時40分から、鈴木総務課長と来年度の人事に関わって打合せを行いました。

13時20分から、今野学校教育課長、千葉補佐、芦野主任と、部活動の地域移行に関する国の事業内容の変更に伴い、予算要求について検討しました。また、今後の学校再編関係のスケジュール等についても検討しました。

16時15分から、新型コロナウイルス感染症対策本部会議がWebex会議で行われました。市内の感染状況については、12月は1,565名の感染が確認されたこと、30代や10歳未満の人の感染が多いことなどが報告されました。また、寒河江市地域経済緊急対策事業について協議され、紙版のプレミアム商品券の売れ残った分をチェリンペイに振り分けて、一人合計10口まで販売することとなりました。

1月10日9時から、週間ミーティングがWebexにて行われ、今週の予定について確認されました。市長からは、年度末に向かって最後の詰めの時期、また、来年度の予算編成もある。健康に留意して頑張してほしいとのお話がありました。

11時から、2階会議室にてジョイントミーティングが開催され、行事予定等を確認しました。

13時30分、西村山広域行政事務組合消防本部の松田警防課長補佐が来庁され、消防職員意見発表会の県大会出場に関して打ち合わせを行いました。

17時15分から、渡邊生涯学習課長と人事関係の打合せを行いました。

1月11日15時から、今野学校教育課長、千葉補佐、芦野主任と学校施設整備計画に関する庁内調整会議に関する打合せを行いました。

1月12日9時から、寒河江小で開催された市定例校長会に今野課長、大竹室長と出席しました。授業を通覧させていただきましたが、各学級とも楽しそうにそして真剣に授業に取り組む子どもたちの姿が見られました。また、掲示されている絵画や書初め等も大変しっかり書かれていて、先生方の丁寧な指導が感じられました。その後、「教育長だより（第9号）」をもとに、「生徒指導提要（改訂版）」の活用、学校部活動の地域連携や地域クラブへの移行、12月議会で質問があったこと等についてお話ししました。

13時15分から、渡邊生涯学習課長と来年度の事業関係及び課内の担当等について協議しました。

14時から、健康福祉課の白田主査と「いのち支える寒河江市自殺対策庁内会議」の内容について、打ち合わせを行いました。

14時30分から、今野学校教育課長、千葉補佐、芦野主任と学校施設整備計画に関する予算要求及び今後のスケジュール等について検討しました。

1月13日16時15分から、新型コロナ感染症対策本部会議がWebex会議で行われました。市内の感染状況については、1月12日までの約400名の感染が確認されたこと、インフルエンザの感染者も増えていることなどが報告されました。市長からは、死者も増加しており、引き続き感染防止対策を行っていくようにとのお話がありました。

1月16日9時から、マンデーミーティングがWebexにて行われ、今週の予定について確認されました。市長からは、市内でもインフルエンザの感染者が増加しており、十分注意してほしいとのお話がありました。

1月17日9時から、今野学校教育課長、大竹室長、佐藤補佐、阿部補佐、千葉補佐、芦野主任と議会会議室において、学校再編に関する庁内調整会議に関して協議を行いました。

11時25分から、渡辺スポーツ振興課長と令和5年度のさくらんぼマラソンとさくらんぼウォークの実施に関して協議しました。

14時30分から、千葉補佐と部活動の地域移行検討会議の内容及び今後の進め方について検討しました。

1月18日午前中、電話で西村山4町の教育長さん方と、来年度の地区陸上大会の実施内容、部活動の地域移行に関しての各町での進捗状況及び課題等について情報交換を行いました。

15時から、市立図書館で開催された第4回寒河江市立中学校部活動の地域移行に関する検討会議に参加しました。実際に動いていただくスポーツ少年団、各種競技団体、文化関係団体への働きかけの仕方や市民への周知の仕方、今後の進め方等について協議していただきました。

17時から、村山教育事務所で佐竹管理主幹と人事関係について協議しました。

1月19日8時40分から、市役所に届いた「1月23日の登校時に児童生徒に危害を加える」といった内容の不審メールについて、今野学校教育課長、大竹室長と対応を協議しました。警察の指導も受けながら、また、同様の不審メールが届いた他の市町教育委員会とも情報交換しながら対応を検討しました。

10時から、寒河江警察署との協議を受けて、今野学校教育課長、大竹室長、阿部補佐と不審メールへの対応を検討しました。

13時30分から、Webexで開催された「いのち支える寒河江市自殺対策庁内会議」参加しました。山形県や寒河江市の自殺状況について、市の自殺対策関連事業の実施等について協議されました。

14時30分から、市長に西村山地区の中学3年生の進学希望状況について報告し、地元の高校への進学希望者が減少している要因や今後の対応等について説明を行いました。

16時から、Zoomで臨時校長会議を開催し、不審メールへの対応について提案し、協議

を行いました。

1月20日13時15分から、議会会議室において、学校再編に関する庁内調整会議を行いました。関係各課の課長さん方からも様々な面からご意見をいただきました。学校再編のみならず、統合後の校舎や校地の利活用、市全体の町づくりの方向性を含め、今後とも検討していくことが確認されました。

14時45分から、渡辺スポーツ振興課長と、来年度のさくらんぼマラソンとさくらんぼウォークの開催に関する検討状況について報告を受けました。

15時から、渡邊生涯学習課長から、図書館の運営等に関する検討のためのアンケート調査等の実施や他市町村の状況について報告を受けました。

16時15分から、新型コロナウイルス感染症対策本部会議が Webex 会議で行われました。市の地域経済緊急対策事業としてのチェリンペイの販売状況や利用状況、市内の感染状況について報告がありました。

1月21日9時から、旧幸生小学校で開催された、さがえ少年少女発明クラブの活動の様子を参観しました。子どもたちが取り組んでいる「種飛ばしロボット」の制作の指導の手伝いを行いました。

1月22日9時30分から、慈恩寺で行われた文化財防火デー訓練（防火訓練）を参観し、講評を行いました。

1月23日9時から、マンデーミーティングが Webex にて行われ、今週の予定について確認されました。市長からは、今週の寒波に対する備えをしっかりとしてほしい。新型コロナも落ち着いてきた感もあり、国も対策の見直しをするようである。社会活動等を平常のペースに取り戻すにはどうしていけばよいか意識しながら進めてほしい。また、今年度のまとめや来年度に向けての準備もよろしくお話ししたいとお話がありました。また、不審メールへの対応状況について総務課と学校教育課から報告があり、今野学校教育課長より、登下校時には多くの方々から児童生徒の登下校を見守っていただいたとの報告を行いました。

11時から、ジョイントミーティングを開催し、3課の予定を確認しました。

11時45分から、渡辺スポーツ振興課長、笹原補佐と来年度のさくらんぼマラソンとさくらんぼウォークの実施内容について、現段階での状況について報告を受け、今後の進め方について検討しました。

15時から、電話で大江町教委の清野教育長、朝日町教委の堀教育長と人事関係の協議を行いました。

1月24日、令和5年度の管理職人事について、電話で村山教育事務所の笹原所長、佐竹管理主幹、河北町教委の板坂教育長、西川町教委の前田教育長と協議しました。

13時から、渡邊生涯学習課長と、市史編纂関係の各種委員の選出や今後の市史編纂事業について検討しました。

16時30分から、村山教育事務所で、笹原所長、佐竹管理主幹へ西村山の各教育長の人事関係の要望を伝え、協議しました。

1月25日、電話で、村山教育事務所の笹原所長、佐竹管理主幹、西村山各町の教育長

さん方と人事関係の打合せを行いました。

○佐藤志津男教育長

以上で教育長報告を終わります。何か、報告についてご質問等ございましたらお願いします。

○鈴木淳一委員

1月23日の登校時に児童生徒に危害を加えるという不審メールについて、より詳しくお聞きしたいのですが。

○佐藤志津男教育長

この件に関しては、今野課長よりご説明いたします。では今野課長、お願いします。

○今野育男学校教育課長

当該不審メールへの対応としましては、警察の方にパトロールを強化していただく他、登下校時通学路において保護者に立ち会っていただきました。以上対応し、無事児童生徒皆さん登校することができ、また、学校の方でも爆破等の予告がありましたが何事もなく過ごすことができたとのことです。

○鈴木多鶴子委員

その件に関して追加でお聞きしたいのですが、不審メールの出どころについては辿ることはできないのですか。

○今野育男学校教育課長

警察に不審メールを全て提出してはいるのですが、警察内でどういう結果になっているのかまでは把握しておりません。

○佐藤志津男教育長

最近全国的にこのような不審メールが、小中学校に限らず大学等にも届いている状況です。

○今野育男学校教育課長

実はメールとは別に、昨日市内の中学校に不審なFAXが届きました。今日も届いたようですが、今度は、振り込まなければ児童生徒へ危害を加えるという金銭を要求する内容でした。昨日は、学校の方とも協議した上通常どおり授業をしまして、出入り口等の見回りを強化するという対応をいたしました。結果、何事もなく終わった訳ですが、このようなFAXはやはり全国的に届いているそうです。

○鈴木多鶴子委員

メール同様、FAXの出どころについても不明なのでしょうか。

○今野育男学校教育課長

はい。こちらも警察に提出済みなのですが、今日のネットニュース等で、犯人が捕まったということが掲載されていました。犯行の目的としては、ある特定の人物に恨みがあり、その人の実名や電話番号をFAXに記載して全国へばら撒くことにより、電話をかけさせることだそうです。

○佐藤志津男教育長

この件に関して、追加でご質問等ありますでしょうか。

(一同、無い旨)

○佐藤志津男教育長

それでは、他にご質問等ある方はいらっしゃいますか。

○國井晴彦委員

部活動の地域移行が、今度の総合教育会議の議題ということで挙げられておりますが、日経新聞に「教育岩盤」というコーナーがありまして、部活動の移行の他にPTAの存在意義について掲載されておりました。都会だとPTAが解散しているそうです。私は寒河江市のPTAも西村山地域のPTA役員も経験してきたので、個人的にはPTAに大変お世話になってきました。役員は毎年引き継がれるので、なかなか制度を改革することにはできないという認識です。「これは昔からやってきたことなので、やるのは当たり前だ」といった具合に。

地方でも「PTAは不要ではないのか」という話がないのか、PTAが解散すると教育委員会なり教育の現場は困るものなのか、教えていただきたいです。

○佐藤志津男教育長

地方でのいわゆる「PTA不要論」といいますか、そういったことが大きく話題になっているということはないと私は受け止めております。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、学年行事等PTAの活動自体も縮小や中止といったこともあり、学校の教育活動全体の見直しが必然的に行われている状況下であるという認識です。ですので、感染症の分類が2類から5類に引き下げられ、3月の卒業式までには学校でのマスク着用緩和等も国が打ち出すべきではないか、といった意見も出ているようです。このように、徐々に元の生活に戻っていくけれども、戻ったからといって、今まで継続していた行事をそのまま復活させるということではないと思います。今回の経験をより生かすことを考えていかなければならないと思います。

P T A活動は、子どもたちにとってもプラス面がたくさんありますし、学校にとっても協力をいただいております。またP T A役員の方から、会合等でお話を聞くと、「役員をやっている良かった」という声を多くお聞きします。中身的には変わっていくと思うのですが、子どもたちが健やかに成長していくためという意味では、学校と保護者と教員の団体であるP T A活動がうまく噛み合わせていくと、より良いものになるのではと思います。

他にご質問等ありますでしょうか。

○大沼賀世委員

P T A関係の話なのですが、毎年母親委員会のなり手が中々いなくて苦労しているということで、見直しのお話が出ています。次年度寒河江小学校では、「子育て委員会」といった形で、母親の名前で登録されていても父母どちらでも参加可能といった方向性で固まっています。母親委員会を経験した知り合いに聞いてみたところ、やはり仕事をしている人で平日の昼間に出席必須な会議が多く、委員をすることができないそうです。そもそも、母親委員会をやる意味があるのか、という意見も聞いていたので、次年度から体制を変更する予定です。

他の学校ではこのような意見が出ていないのか、気になったところです。

○佐藤志津男教育長

陵南中学校も、私が校長をしていたときに大沼委員からお話あったようなことがありまして、母親委員会から子育て委員会へ名前を変えて、今も活動していると思います。県の母親委員会もありますので、そちらも今後変わっていくのではないかと思います。

そもそも、母親委員会が始まった一つの要因として、P T Aに必ず父親が参加している状況下で、母親目線での学校運営も大事にしていくということも挙げられるのではないかと思います。

ただ、大沼委員もおっしゃっていたように、母親委員会には多くの研修会や会合があり、苦労しているということもあります。そのため、回数を削ってきた経緯はあるのですが、方向性としては変わっていくのではと思います。

○鈴木多鶴子委員

その件に関してですが、私も母親委員長を経験したことがありまして、当時は夕方からの会議もありましたが、夜の会議が多くありました。委員長ともなると、学校の中でも常任委員ということで、他の組織の委員長が集まる会議にも出席する必要がありまして、子育てをしながら会議に出席することが非常に大変でした。そして、教育長もおっしゃったように、上の組織もありますので、市の母親委員長会議だけでなく西村山地域の母親委員長会議もあり、本当に忙しく何年か過ごしました。

やはり、時代も変わるとともに色々な組織の見直しをする必要があると思います。その時に、母親委員会設立当時のように「上の組織があるので絶対にしなければならない」と

いったことではなく、委員を経験してきた方々の意見も取り入れつつ、全体を通して見直しをしていけたらと思います。

○佐藤志津男教育長

本当にその通りです。今、寒河江小学校で見直しの動きがあるという話がありましたけれども、学校から見直しの声が高まってくると市としても「そこを見直そう」という方向になると思いますし、県としても検討する材料にもなりますので。「上の組織があるので絶対にしなければならない」という風潮ですと、いつまでたっても組織は変わらないので、やはり各学校の実状に応じて見直しの声をあげていくということは必要だと思います。そして、全体的により良い方向に変わっていったらと思います。

4 議 事

○佐藤志津男教育長

他にないでしょうか。それでは続きまして議事になりますが、今回は事務局からの提出議案がございません。皆様の方から何かございますか。なければ以上で、教育委員会を閉会したいと思います。

5 閉 会 午前10時30分